

平成 22 年度 第 3 回 函館市南茅部地域審議会会議録

開催日時	平成 22 年 12 月 2 日 木曜日 午後 3 時 00 分～午後 4 時 25 分
開催場所	函館市南茅部支所 3 階 多目的ホール
内 容	<p>議 題</p> <p>(1) 函館市南茅部地域審議会の会長および副会長の選出について</p> <p>(2) 合併建設計画の執行状況について (諮問)</p> <p>地域振興全般に関する意見交換</p> <p>その他</p>
出席委員	<p>高谷(静)委員 秋本委員 蛭谷(邦)委員 山下委員 竹原委員  熊谷委員 佐々木委員 木原委員 坂本委員 小川委員  齊藤委員 佐藤委員 工藤委員 蛭谷(英)委員 高谷(大)委員  (計 15 名)</p> <p>・ 報道関係 (計 0 社)</p> <p>・ 傍聴者 (計 0 名)</p>
欠席委員	(計 0 名)
事務局の出席者の職氏名	<p>南茅部支所長 佐藤洋一 副 市 長 小柏忠久  南茅部支所地域振興課長 長谷川大春 企画部計画推進室長 小野 浩  同市民福祉課長 小枝精一 地域振興課主任主事 小玉 亮  同産業建設課長 河合満夫  同地域振興課主査 西谷光一  同地域振興課主任 加我明夫  南茅部教育事務所長 田名部洋</p> <p>(計 10 名)</p>

委嘱状交付（午後 3 時 0 0 分）	
事務局 (長谷川課長)	<p>本日は、何かとご多用のところ、出席をいただき、誠に有り難うございます。審議会の開催に先立ちまして、委嘱状を交付させていただきます。委員の皆様には、お席にてお受け取り願います。</p> <p>(佐藤支所長が各委員に委嘱状を交付)</p>
1 開 会	
事務局 (長谷川課長)	ただ今より、平成 22 年度第 3 回函館市南茅部地域審議会を開会します。
2 支所長あいさつ	
佐藤支所長	<p>&lt;挨拶要点&gt; 合併して、この 12 月 1 日で 7 年目に入りました。地域審議会の委員につきましては、2 年間の任期ということで、只今、市長からの委嘱状を交付させていただきました。</p> <p>なお、11 月末で退任されました前委員の方々には、これまで南茅部地域審議会はもとより、地域代表の立場から同じ函館市民としての相互理解を深めることや南茅部地域の振興のために、ご尽力いただきました。</p> <p>ここに改めて、心より感謝とお礼を申し上げる次第であります。</p> <p>南茅部支所といたしましては、今後とも支所職員ともども、地域住民の皆様や地域審議会の声に真摯に耳を傾け、南茅部地域が持続的に発展できるよう豊かな海を守り、漁業開拓の歴史文化や温泉、縄文などの特性をフルに生かし、海とともに生きる活力ある南茅部を目指して、できる限り努力して参りたいと考えておりますので、今後 2 年間、委員の皆様の更なるご支援、ご協力を賜りますことを切にお願いを申し上げ、ご挨拶といたします。</p>
3 委員等の紹介	
事務局 (長谷川課長)	<p>出席者 15 人、欠席者 0 人、地域審議会の設置に関する規程第 8 条の規定により、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>ここで、支所長から委員の皆様をご紹介申し上げます。</p> <p>(佐藤支所長が委員を紹介)</p>
事務局 (長谷川課長)	<p>次に、支所長から支所および本庁から出席している職員を紹介いたします。</p> <p>(佐藤支所長が職員を紹介)</p>
4 議 題	
(1) 函館市南茅部地域審議会の会長および副会長の選出について	
事務局 (長谷川課長)	<p>日程 4 の議題に入らせていただきます。</p> <p>規程では、議事の進行は、審議会の会長が会議の議長となる定めとなって</p>

	<p>おります。</p> <p>会長選出までの間、佐藤支所長に議長をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか？</p> <p>(異議なし)</p>
事務局 (長谷川課長)	<p>それでは、支所長に議長をお願いいたします。</p>
佐藤支所長	<p>(1) 函館市南茅部地域審議会の会長および副会長の選出について、事務局から説明願います。</p>
事務局 (長谷川課長)	<p>(資料1のとおり説明)</p>
佐藤支所長	<p>選出方法について、何かご意見ありませんか？</p>
熊谷委員	<p>選考委員会方式がいいと思います。</p>
佐藤支所長	<p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p>
佐藤支所長	<p>選考委員会方式でという声がありましたが、よろしいですか？</p> <p>(異議なし)</p>
佐藤支所長	<p>それでは、選考委員について、議長が指名させていただくことでよろしいですか？</p> <p>(異議なし)</p>
佐藤支所長	<p>選考委員は、木原茂委員、佐々木昌子委員、高谷大喜委員、竹原皓治委員、坂本邦行委員の5名を指名いたしますので、別室にて選考願います。</p> <p>その間、暫時休憩とします。</p> <p>(午後3時13分、休憩)</p> <p>(午後3時20分、再開)</p>
佐藤支所長	<p>選考の結果を佐々木選考委員長から発表していただきます。</p>
佐々木委員	<p>選考委員会の結果を発表いたします。</p> <p>会長に秋本明敏委員、副会長に熊谷儀一委員をお願いしたいと存じます。</p>
佐藤支所長	<p>ただ今、選考委員長から選考結果が発表されましたが、いかがでしょうか？</p>

<p>佐藤支所長</p> <p>事務局 (長谷川課長)</p> <p>秋本会長</p> <p>事務局 (長谷川課長)</p>	<p>(異議なし)</p> <p>それでは、会長に秋本明敏委員、副会長に熊谷儀一委員、以上のとおり決定しました。</p> <p>秋本会長から就任のご挨拶をいただきます。</p> <p>ただ今、委員の皆様のご推挙により会長に選出され、熊谷副会長とともに審議会の運営と進行役を務めることとなりました。 地域審議会も4期目に入り、その重要性がなお一層増してくるものと考えております。 お互いの活発な意見交換により、2年間、実りの多い審議会にして参りたいと考えております。 思いの一端を述べまして、就任のご挨拶といたします。</p> <p>それでは、秋本会長を議長に、議事を進行していただきます。</p>
<p>(2) 合併建設計画の執行状況について (諮問)</p>	
<p>秋本会長</p> <p>事務局 (長谷川課長)</p> <p>秋本会長</p>	<p>合併建設計画の執行状況について、地域審議会への諮問がございます。事務局から説明願います。</p> <p>合併建設計画につきましては、毎年、前年の事業実績などを地域審議会に報告し、委員の皆様からご意見等をいただき、地域の声を市政運営に反映させながら、計画の推進に努めてきたところです。 すでに合併から6年を経過したところでありますので、今回、これまでの合併建設計画の執行状況について、地域審議会のご意見をいただき、今後の計画の推進に反映させていただくものでございます。 なお、昨年、合併後5年を経過し、合併建設計画の計画期間10年間の半分が過ぎました。 このたび、計画の前期5か年の執行状況を取りまとめましたので、参考にさせていただきたいと存じます。 このあと、資料について簡単に説明させていただきますが、今後の進め方といたしましては、本日、資料を説明した後、質疑をいただき、さらに3月の地域審議会でも本格的に議論をしていただき、その議論を踏まえ、答申(案)を作成し、5月中に決定していただきたいと思いますと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>(資料2のとおり説明)</p> <p>説明が終わりましたので、質疑に入ります。 質疑ありませんか？</p>

坂本委員	市としては、建設計画の進捗状況をどのように認識しているのか？
佐藤支所長	<p>本計画の策定にあたっては、当時の社会情勢、市の財政、東部4地域の状況を勘案して策定されましたが、目まぐるしく変わる社会情勢や厳しい財政状況の中で、地域の振興を図って参りました。</p> <p>結果的には、全体計画の4割程度の進捗率で、特に水産関係の産業振興施策は着実に実施されており、大幅に住民サービスの低下を招いている訳でもありませんことから、概ね計画は進められているものと分析しております。</p>
坂本委員	<p>この資料のまとめで、「特に編入した東部4地域においては、旧町村時代からの主要事業や各種サービスを継続するとともに、地域性に配慮し、新規事業についても重点的かつ集中的に取り組んでいます」とあるが、合併当初に比べれば支所の職員も半分以下に減り、さきの新聞報道によれば、合併に関するアンケートの結果が「合併しない方が良かった」と感じている人が増えているとのことだった。</p> <p>これは、地域が疲弊している事への表れだと思うので、その辺も踏まえて次の審議会に向けて議論したい。</p>
佐藤支所長	<p>新聞報道については、私も承知しておりますが、「合併しない方が良かった」と感じる背景には、住民と身近な行政運営をしてきた旧町時代に比べ、30万都市である函館市の行政スタイルとのギャップがあるものと思われます。</p> <p>また、支所の職員が減っていく中で、行政との距離を感じたり、過疎化や少子高齢化などによる地域の将来に対する不安から、そうした結果につながっているのではないかと分析しております。</p> <p>そうした事を踏まえ、支所としては地域の皆さんの声に耳を傾けながら、地域の活力を維持し、将来、合併して良かったと感じられるよう、努力して参りたいと考えております。</p>
坂本委員	それに関連して、病院や高校の存続問題があるが、高校が無くなれば、通学費や時間的な負担が大きいのと思うので、存続できるよう対応してほしい。
佐藤支所長	現在、戸井高校の存続について、市が北海道と協議しておりますが、この先、南茅部高校も同様な課題を抱えておりますので、高校や教育事務所とも連携を図りながら、生徒数の確保に努めていきたいと考えております。
秋本会長	副市長から何かご発言ありませんか？
小柏副市長	<p>東部4地域に限らず、少子高齢化という全国的な流れの中で、限られた財源をどこに優先して使うのかという事が、ここ数年で大きく変わっております。</p> <p>10年前は公共事業が主体でしたが、最近では高齢者福祉や子育て支援といった社会保障が優先的な課題となってきております。</p> <p>そうした中で、合併建設計画については、概ね進められてきているものと思いますし、今後も出来るだけ達成していきたいと考えております。</p> <p>それから病院について、昨日、病院事業経営評価委員会が開催され、秋本会長にもご出席をいただき、特に南茅部病院についてご発言をいただいております。</p>

病院事業総体では、診療報酬改定により公立病院にとっては厳しい経営状態が続いておりますが、単に経営の面だけでなく、特に南茅部病院と恵山病院については、地域政策という視点で考えていく必要もありますことから、今後どういった形で存続させていくのか、経営評価委員会の中できちんと議論していきたいと考えております。

高校の存続問題については、先般、戸井高校が25年度から募集停止するとの話が出て、市長や教育長が道教委に交渉しておりますが、端的に申し上げますと、道の財源不足により、20人の定員が見込めない学校は廃止せざるを得ないとの事で、その姿勢は崩していません。

ただ、当市はまだ他に道立や市立高校がありますが、三笠市では市内に1校しかない高校を廃止するとの事であり、中々厳しい状況にあります。

しかし、地域を守るためには、高校の存続という事も大きなウェイトを占めておりますので、地域政策として道立での存続、道立高校のキャンパス校、もしくは市立高校のキャンパス校など様々な選択肢から、まずは教育サイドからきちんと議論してほしいという事で、現在、教育委員が4地域の高校教育のあり方について検討を行っております。

教育委員からは、地域の意見も伺いたいとお話もあり、今後、そうした場面もあろうかと思いますが、戸井高校の存続については、将来的に南茅部高校にも関連してくる問題ですので、慎重に検討して参りたいと考えております。

最後になりますが、合併して良かったかどうかは、それぞれ考え方があろうかと思いますが、やはり大事なのは現実を見据えた中で、次代が夢と希望を持てるような地域運営に対して、地域審議会の皆様が積極的にご意見くださればと思っております。

そのひとつとして、縄文文化交流センターは、地域における夢でもあり希望でもある施設になると期待しておりますし、この施設を核としたまちづくりや他市町との交流なども展開していけると考えておりました、私をはじめ教育委員会、各関係部局、支所とチームを作って検討していくこととしておりますので、そちらにつきましても支所を通じて色々なご意見をお寄せいただければと思います。

坂本委員

合併協議の際、南茅部町は合併しなければ破綻すると聞いていたのに、合併したら支所の職員はどんどん減らされ、鹿部町のように合併していない自治体の方が職員数は多い。

地域振興を図るとは言っているものの、現実的には衰退している感が否めないで、そうした地域住民の思いをきちんと踏まえた中で、施策を講じていく必要があるのではないかと？

小柏副市長

南茅部支所に限らず、4支所合わせて合併後、500人の職員が増えましたが、4年くらいかけて、それに相当する職員は減らしてきました。

確かに他の合併していない自治体に比べ、職員数は少ないかもしれませんが、その分の人件費をどこに充てるのかという選択をした場合、当市としては出来るだけ組織の規模を縮小して投資に回すという考え方でございます。

秋本会長

他にありませんか？

佐々木委員	<p>現実問題として、高齢化が進み、若者が減っているという事に対する不安を感じる。</p> <p>将来的な不安の中で、基幹産業である漁業であっても、跡を継がせるのに二の足を踏んでしまっている。</p> <p>地域の衰退が著しく進んでおり、夢や希望を持ってないのが現状である。</p>
小柏副市長	<p>合併に関わらず、少子高齢化は市として大きな課題であります。</p> <p>ただ、東部4地区の中でも、南茅部地区は漁業が安定しており、縄文文化という財産もありますので、こうした財産を活用しながら、地域で知恵を出し合って次代が夢や希望を持てるように取り組んでいきたいと考えております。</p>
佐々木委員	<p>人が少なくなったからといって、集約や廃止をするのではなく、過疎化が進んでいる地域ほど、手厚く支援してほしい。</p>
佐藤支所長	<p>私は、30万都市である函館市の都市機能というものは非常に重要だと認識しております。</p> <p>人口6,500人の過疎地域だけでフルセットのまちづくりをしていくには限界があり、都市部と漁村部が相互補完してこそ、合併の効果が表れるものと考えております。</p> <p>確かに少子高齢化による不安はあろうかと思いますが、地域の皆さんがいつまでも安心して暮らしていけるよう努力して参りたいと思います。</p>
秋本会長	<p>他にありませんか？</p> <p>(特になし)</p>
秋本会長	<p>他に無いようですので、質疑を終了します。</p>
<p>5 地域振興全般に関する意見交換</p>	
秋本会長	<p>日程5の地域振興全般に関する意見交換を行います。</p> <p>さきに事務局から説明があります。</p>
事務局 (長谷川課長)	<p>これまで毎回、テーマを設けて意見交換を行っておりますが、さきほどの議題の中でも説明しましたとおり、次回の審議会ではこのたびの諮問について審議することとしておりますので、次回の意見交換テーマは設けず、そちらの方に集中してご審議いただきたいと思います。</p>
秋本会長	<p>他にご意見ありませんか？</p>
嵯谷(邦)委員	<p>今回は初めての審議会であり、次回は集中審議も予定しているとのことなので、それまで勉強して次回に意見を述べたいと思う。</p>
秋本会長	<p>他にご意見ありませんか？</p>

	(特になし)
秋本会長	特に無いようですので、これで地域振興全般に関する意見交換を終了します。
6 その他	
秋本会長	日程6, その他に入ります。 事務局から何かありましたら, 説明願います。
事務局 (長谷川課長)	お手元に「函館市まちづくり3か年計画」を配付させていただきましたので、今後の活動の参考にしていただきたいと思います。
秋本会長	<p>以上で、本日予定の日程が全て終了しました。 委員の皆さんには、長時間にわたり、ご審議をいただき有り難うございました。</p> <p>最後に、会長就任にあたっての思いを述べさせていただきます。 本日は、全員出席であります。昆布最盛期などは欠席者が多く見受けられます。</p> <p>地域の振興を図るための大事な会議ですので、極力ご出席賜りますようお願いいたします。</p> <p>それから、本日、副市長と小野室長が出席されておりますので、申し上げさせていただきますが、市長は「協働のまちづくり」を標榜されております。</p> <p>そのためには、情報の共有が基本となりますので、積極的な情報公開をお願いしたいと思います。</p> <p>また、大型事業については、直営はもとより漁協などの補助事業であっても、計画の概要、予定工費、負担区分、投資効果などの情報提供もお願いしたいと思います。</p> <p>一例を申し上げますと、現在工事が進められている直販加工センターなどは、事業主体が漁協だからということだけでなく、施設の概要や図面などを提示したうえで、審議会の意見等を取り入れるような仕組みになれば、いわゆる情報の共有なり、まちづくりの一体感なりが図られていくものと思います。</p> <p>また、市民相談の中には、国や北海道などの行政機関との調整が必要な場合もありますので、市が調整役となって問題解決に取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>以上、申し上げた事項についてご配慮いただければ、大いに評価できる審議会になっていくものと期待しておりますので、よろしくごお願いいたします。</p> <p>次回の審議会は、3月を予定しております。 本日は、これをもちまして閉会します。 どうもご苦労様でした。</p> <p>(午後4時25分、閉会)</p>